

「やっさもっさ祭り」で育む郷土愛

～人とひととが繋がる地域をめざして～

講演会開催 参加者募集

豊かな時代を自由に生きてきた
そんな時代がいつまでも続くと信じてきた
しかし今、私たちの未来に不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。地域福祉に関して、次世代を担う子ども達の育成に関して、その他多くの面でそこには、地域住民の協力、助け合いが必要なのです。
人とひととが繋がる地域を、めざして、今すべきことは何なのか、今出来ることは何なのか、考えてゆくべき時が来るのではないのでしょうか。



講師 小川 久志氏
有限会社 オガワインターナショナル 代表取締役

プロフィール

1947年 広島県福山市生まれ。大阪市立大学法学部卒業後、三井住友銀行入行後、国際ビジネスコンサルタント開業、地元企業・海外企業の輸出輸入・マーケティング・海外投資・国際企業活動指導など、現在に至る。
1991年10月よりRCCラジオ「小川久志の今日もいい朝」のパーソナリティーを10年間務め人気を博す。

- 日時** 2010年5月15日(土) 18:30～20:00 (受付 18:00～)
- 場所** 三原市中央公民館 2F 中講堂
- 締切** 2010年4月28日(水)
- 定員** 150名(参加費無料)
- 後援** 三原市教育委員会
- 問い合わせ** 社団法人 三原青年会議所
TEL (0848) 63-3515 FAX (0848) 62-1141
担当者 郷土愛育成委員会 委員長 桐島 勝利



桜咲く季節となり、新年度がスタートして1ヶ月が経とうとしている。真新しいランドセルを背負った新一年生が、希望を胸に膨らませて桜の下を登校する姿が微笑ましく見受けられる時期でもある。私には果立ったばかりのひな鳥をついで連想してしまう。幾多の困難にもめげずに、健やかな成長を祈るばかりである。◆ここまで筆を進めて「艱難汝を玉にする」という言葉を思い出した。苦勞に出会って始めて成長があるという事である。案をして手に入るものよりも苦勞して努力して掴んだものこそ大切なものであるということだ。人生においてはうまくゆかないことのほうが多く、人生は苦難の旅だと例えられる。人は苦難を避けて安楽な道を探そうとする。安楽な道はゆく人はほんのわずかなことでも根をあげてしまい苦しみに耐えられず、あきらめてしまう。苦難に出会った時、その人の真価が問われ、苦難は人間を成長させてくれる糧であると考える。そしてこそ可能性を切り開いてゆけるのだと思う◆我々のJC活動も本年度のスローガン「超克」のもと佳境に入ってきた。我々の活動のあり得べく姿を思い描き、それに一歩でも二歩でも近づくと、苦難を乗り越えメンパー一丸となって取り組んでゆかねばと、新一年生を見て改めて思いを強くした。

またかきいたか